

安否確認(訓練)の本格的実施のススメ

1. 目的

地震発生後に家屋に閉じ込められるなどして動けない住民をいち早く救助する、助けを求めている住民を発見するための地域や隣家住民による活動です。

2. 発災後の具体的行動〈詳細は次頁以降参照〉

- ①事前に用意あるいは申し合わせていた「安全の目印」を住民は所定の場所に掲げる
- ②目印を確認する役員や班長が、目印のない世帯を実際に訪問、異状の有無を確認する
- ③上記②で異状が疑われたら直ちに救助行動や救急隊への連絡を行う
- ④確認結果を災害本部(柏市)に報告する【住宅地図への展開作業が重要】

①事前に申し合わせていた「安全の目印」を住民は 所定の場所に掲げる



プラカード
マグネット式が便利かも



タオル類

②目印を確認する役員や班長が目印のない世帯
を実際に訪問し異状の有無を確認する



**非常に重要な活動です
災害の本番で初めて行うことは
決して容易ではないので訓練での実践
をお願いします**

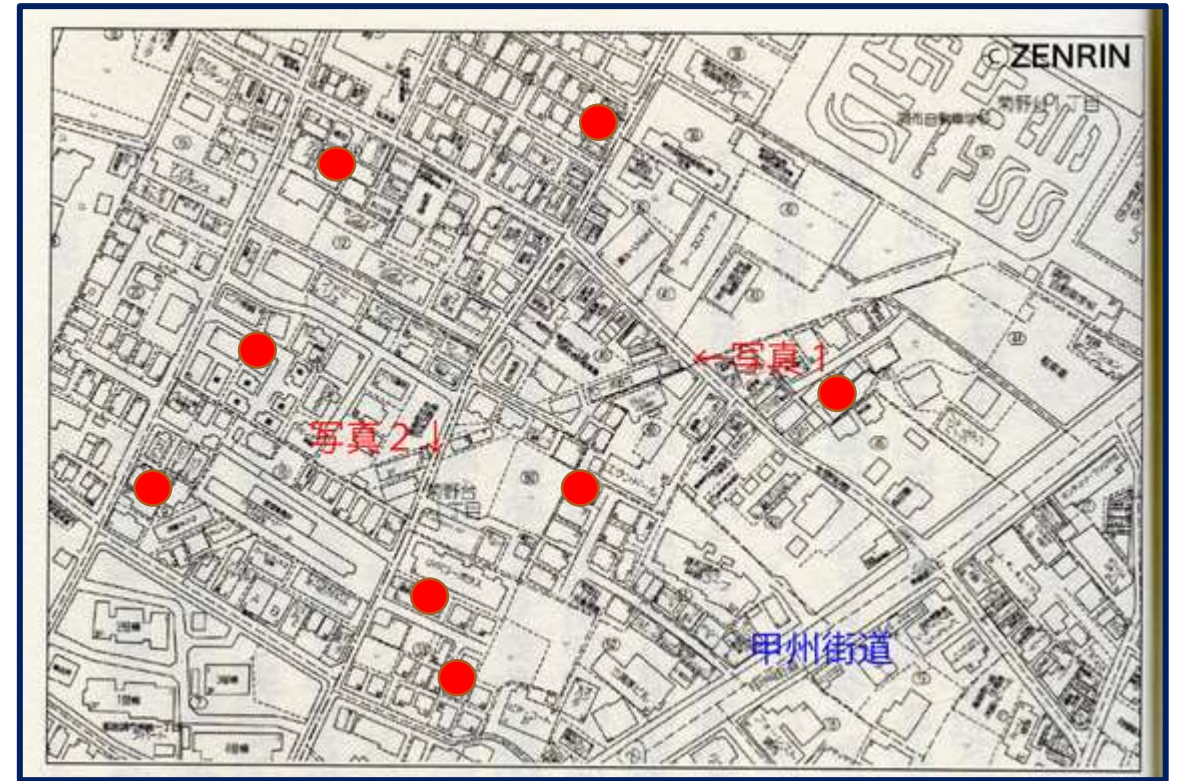
- ③訪問結果で異状があればただちに救助行動・救急隊への連絡を行う（訓練時は「不在」・「応答なし」の世帯を所定部署に報告する）



**災害時は電話・電子メールは
通信回線がパンクし
利用し難くくなります
これ以外の手段を各団体に
事前に用意しましょう**



④確認結果を災害本部に報告する 【未確認世帯を住宅地図への展開作業】



● 不在・応答ナシ世帯

⑤災害本番での未確認世帯への対応



自組織で救助活動を実施



直ちに救急救助を要請

最後に・・・

- 各団体には①～④までの行動が訓練を通じて出来るようその実行を目指しましょう
- それが住民の安心安全を守るために地域で出来る一つの道です
- 次期(後継者)にも本件の引継ぎを是非お願いします